



狭山公園で「お花見会」開催



日時：4月7日(日) 11:00～14:00
 場所：都立狭山公園内
 (多摩湖 堤防の下 Wの旗が目印)
 (西武遊園地駅、後方改札口から出ると徒歩3分です。)
 会費：無料
 飲物と簡単なつまみは会で用意します。食べ物は各自持参してください。
 又、食べ残した食料とゴミは、各自責任をもって持ち帰りをお願いします。



雨天の場合中止 (問い合わせは当日午前7時より當事務局長へ
 TEL 391-6023)

(狭山公園のHPより)

会場は昨年と同じ場所です。今回は参加費無料としましたので、多くの皆様の参加をお願いいたします。



○ 平成25年4月 定例役員会

日時 4月6日(土) 13:00～14:30
 場所 サンパルネ・コンベンションホール

15時から16時30分まで雑学講座が開催されます。その後17時から「丸藤」で懇親会を行いますので是非ご参加下さい。

○ 第81回 雑学講座

日時：平成25年4月6日(土) 午後3時～4時30分
 場所：サンパルネ・コンベンションホール(東村山駅 西口駅ビル 2F)
 講師：立松英信氏(工学博士 鉄道総合技術研究所を経て 現在 ジェイアール総研 エンジニアリング取締役・相談役 小金井稲門会 会員)

演題：日本の鉄道のあゆみ

世界最高水準の技術に支えられ、安全と正確さと快適さを極める日本の鉄道。明治5年に始まり、鉄道路線建設時代、車両国産化時代、電化時代、制御システム化時代と近代鉄道への道を突き進んで来ました。私共の生活に無くてはならない鉄道の、その弛まぬ歩みの判り易いお話です。

(担当 福田昇七)

○ 稲門祭運営委員に大内副会長、実行委員に吉田勝幹事・野田直さん

2013年度稲門祭(10月20日開催)の本部運営委員として大内副会長が昨年に引き続き選任され、又実行委員は吉田勝・野田直両氏にお引き受けいただきました。

記念品販売では、今年も多くの方の皆様に協力をお願いいたします。
 なお、同日行われるホームカミングデー招待該当年の方は、1964年・1969年・1979年・1989年・1999年ご卒業の方々です。

○ 大学院に経済ジャーナリズムコース新設

早稲田大学大学院は今春、経済学研究科に経済ジャーナリズムコースを新設する。この数年、金融緩和の議論や相次ぐ会計不祥事などでメディアも経済に問われている。マクロ経済学や企業の分析方法などを講義し、経済報道に対する専門家を育てる。定員は20人

☆ 東村山市「公共施設等再生基金」創設

東村山市は新年度当初予算を発表し、公共施設の老朽化対策に向け「公共施設等再生基金」を創設し、施設の再生に充てる資金を積み立てることを明らかにした。3月までに公共施設白書をまとめ、4月以降、公共施設の再生計画を策定する。

☆ 全保育施設にPHS設置

東村山市は市内にあるすべての保育関連施設計80カ所に、東日本大震災時にも通信状態が良かったPHSを1台ずつ設置する計画を明らかにした。緊急時の連絡手段を強化する。

え！！ 本当？ 校歌を3番まで歌える早大生は9%

早稲田大学の学生広報誌「早稲田ウイークリー」1月17日号に衝撃的な記事が掲載されていた。それは昨年学生部が学部学生1万人に対して行ったアンケートによると（回答者4037人）「歌詞を見ずに校歌をどのくらい歌えますか」という質問に「3番まで歌える」と答えたのは回答者の9.4%に過ぎなかったというのである。回答者は早大生としての意識の高い模範的な学生とみなせるので、早大生全体での数字はさらに低くなると予想されるそうだ。笹倉学生部長は、今は校歌を歌えなくなった考察する余裕はない。とにかく校歌を3番まで歌いながら母校から旅立ってほしい、校歌を歌って新入生を迎えてほしいと悲痛な呼びかけをしている。私はこの記事を見て愕然とした。校歌も歌えずに、早稲田130年の歴史、建学の精神を理解しているのだろうか？早大生としての誇りがあるのだろうか？優秀な教員、偏差値の高い学生が集まって、研究・教育にはそれなりの成果を上げているのだから、早稲田大学のアイデンティティーというものはあるのだろうか？

校歌も歌えず卒業する学生に愛校心はあるのだろうか？VISIONN 150もいいが、まず学生には、志立大学としての「早稲田大学の歴史」のような講座を必修科目として設置してもらいたい。そこで校歌も教えて欲しい。こんな考えは年寄りのたわごとなのだろうか。

(小亀輝雄)

早実4年ぶりセンバツ高校野球大会出場決定

1月25日発表

昨年の秋季都大会決勝で安田学園に1対2で敗れ不安な気持ちで選考の日を待っていただけに喜びもひとしおです。

関東・東京で6枠が割り当てられている内、東京は都大会優勝の安田学園が選ばれ、関東は昨年秋季大会の4強を選出。関東大会で初の3連覇を果たした浦和学院は文句なし、準優勝の花咲徳栄は球威抜群の右腕・関口と2本塁打の4番若月らの中軸が高評価。常総学院は2試合連続完投勝ちの右腕・飯田と得点力のある強力打線を評価、宇都宮商は右腕・飯岡を核とした小刻みな継投策が認められた。問題の6枠目は東京大会準優勝の早稲田実業と関東8強の前橋育英との比較となり、西山、二山の両左腕が安定しており早稲田実業が投手力で勝るとして選出された。4年ぶり20回目のセンバツ、春夏合わせて48回目の甲子園出場となった。今回は第85回記念大会の為例年より4校多い36校の戦いとなる。



夢再び！

斎藤佑樹を擁して優勝した2006年夏の大会があったころは期待

しつつも無理かなと思っていた事が今年実現しそうで楽しみだ。早実中等部出身の利光健作捕手が実力ある推薦入試組を抑えレギュラーを勝ち取り、昨秋の都大会準決勝、決勝でも本塁打も放つなど準優勝に大きく貢献し、甲子園でも活躍が期待されることだ。また初等部出身の矢野匠君もベンチ入りの可能性があり早実硬式野球部の新しい伝統が始まる予感がする。

昨秋の都大会では主力選手に怪我人が続出し苦戦したが、それでも準優勝、甲子園では全員の力に磨きをかけ、結集し紫紺の優勝旗を目指し再び校友に夢と希望を与えて欲しい。

(大内 一男 記)

1月・2月合同「お誕生会」報告



担当幹事：滝川桜子・紅松容子

1月、2月合同お誕生会は、2月9日（土）午後5時からいつもの久米川駅前「割烹丸藤」で開催され、お誕生者9名とお誕生者を祝う役員等の方々も含め総勢22名の出席で行われた。お誕生者9名の方は、1月は、小野 智さん（30政経）、倉田哲也さん（36理）、高橋鶴次郎さん（38理）、2月は、岡田一郎さん（40商）尾島敏雄さん（49商）高橋正夫さん（35政経）、内藤 慎さん（28商）、樋地正秀さん（36政経）、吉澤雅子さん（38文）だった。

会は、小亀会長からの挨拶に続き、當間昭治副会長の乾杯のご発声で開会となり、しばしの歓談後、会長からバースディプレゼントが手渡された。そして誕生日を迎えられた方々からスピーチをいただいた。

お誕生会出席は初めての樋地さんは、公式バトミントンコーチ、登山、青春切符を利用しながら全国旅行を楽しむ等などいろいろな趣味を楽しみまた民生委員活動もされ、お元気な日々を過ごされていることを語られた。尚民生委員活動は今年でご退職とのことだったが、見るからに若々しくエネルギッシュな様子から、その余力はきっと稲門会活動でこれから発揮されそうな感じだった。他の方のお話は、退職後に東村山稲門会と巡り合っって職場とも違い対等にいろいろの人々と過ごせる稲門会活動に魅力を感じて過ごして、ご自分なりに有意義に楽しんで過ごされている様子、日常取り組んでおいでのこと、日頃感じていることなどだった。それぞれの方が、その方なりに屈託なく話されたスピーチの後は、なごやかに活発な交流がなされた。そして赤荻さんの最後の恒例の月ごとの参加者の方々の集合写真撮影、その後、東村山稲門会の歌、校歌を声高らかに斉唱し、福田昇七副会長の閉会の挨拶でお開きになった。

青春の一時期を早稲田の杜で共に過ごして早稲田大学卒業、東村山市在住という仲間同士の絆で結ばれているお誕生会。参加し合っって交流しあいながら、お誕生日を迎えることが、青春のみずみずしさを思い出し、エネルギーを注入していける、年を加えるのではなく年を取っていく会になるよう、また気軽に参加できる会になっていくことを目指して取り組んで行きたい。

年を重ねただけは、人は老いない。理想を失う時に初めて老いがくる（サミュエル：ウルマンの詩から）

一生勉強一生青春、一生感動一生青春

戸籍上の年齢には関係なく、毎日何かに感動し、心のときめくこと、それを私は青春と呼んでおります。（相田みつを「一生感動、一生青春」から）
（滝川 桜子 記）

旅行会のご案内

本年度の旅行会は海辺に面した西伊豆の宿に泊まって、ゆっくりと過ごすプランを計画しました。多くの会員の参加を歓迎いたします。

旅行日時： 5月14日（火）～15日（木）1泊2日
 宿泊地： 西伊豆土肥温泉 明治館（3人1部屋、ご夫婦参加者は1部屋で）
 交通手段： メモリー観光大型バス
 参加費： 25,000円
 集合時間： 午前7：30東村山駅東口出発の予定（7：20集合）
 行程： 〈予定〉
 初日： 河口湖—山中湖経由—沼津で昼食—柿田川湧水—三島大社—戸田峠（達磨山）—土肥温泉に4時前に到着（泊）
 二日目： 修禅寺参拝—万城の滝—蛭ヶ小島で昼食—箱根芦ノ湖—仙石原・湿生花園見学—乙女峠—東名厚木—東村山駅（帰着18：30ごろの予定）

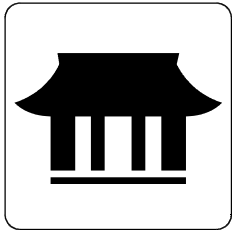
大型バス確保と旅館の部屋確保のため、なるべく早期に参加人数把握の必要がありますので、3月31日までに世話人あてに参加のご連絡をお待ち申し上げます。

代表世話人 高橋正夫（TEL 309-3407）
 世話人 青山稔（＼ 393-8372）
 赤荻洋一（＼ 393-6432）

同好会だより

当会会員の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

郷土史の会



世話人 高橋正夫 TEL 309-3407
阿部茂 332-0298

郷土史の会は世話人の伊藤さんが業務多忙のため、しばらく休会しておりましたが、阿部茂・高橋正夫の両名が世話人として、再会させていただくことにいたしました。

コースなどの内容は4月号ニュースで案内させていただきますが、4月19日(金)を予定しております。

(高橋正夫 記)

パソコン同好会

世話人 小菅宏 TEL 391-0219
福田昇七 391-9726



Aクラスは「インターネットを楽しむ」に進みました。これからヤフーやグーグルのサービスの中から、希望の多いメニューをいくつか選んで楽しんでいきます。例えば、「クーポンを手に入れよう」、「オンラインショッピング」、「路線検索」、「指定券・航空券予約」、「宿泊予約」、「用語を調べる」、「Google Earth・マップで地図検索」、「YouTubeで無料動画を楽しむ」。また、キーワード検索等の基本的なやり方も学んでいきます。

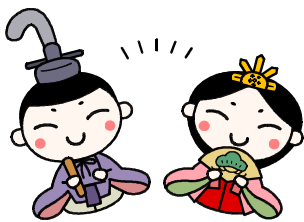
Bクラスはワードの「飾り枠」「図形」を勉強中です。3月は「テキストボックス」「ワードアート」と進み、1ランク上の見栄えの良い文書を作れることを目指します。その後、「インターネット」「メール」の活用、「エクセル基礎」を計画しています。

4月6日(土)に行われる雑学講座の案内ビラをBクラスのメンバーと講師とで作成しました。今回の稲門会ニュースに同封されているのは、その中の優秀作です。他に、ハガキサイズのビラも、それぞれ作成して、知り合い・友達に手渡しする予定です。

当面の日程は、同好会等 短期予定表をご確認ください。

俳句同好会 (稲酔会)

世話人 井垣和太 TEL 04-2924-2934



第66回「稲酔会」俳句会は、2月23日(土)午後2時から「丸藤」2階で開催されました。

春とはいえ、まだ風の冷たい中を、一年近く振りに粟島三郎さんが出席され、小永井哲哉さんを欠いた句座が、賑やかさを取り戻しました。

以下、井垣稲雀、出田麦穂、風間和夫、幸田瑞雄、内藤慎、丸本北窓の計7名が参加。投句参加者は、高部糸行、八木竜湖、山下波雲の3名。総計10名が、兼題の「轉り」を含む近詠5句を持ち寄り、合計50句で選句・合評おこない、5時までの3時間勉強をしました。

互選の結果最高点句には

一線に群れゐて雀浅き春 竜湖

が選ばれました。

句会のあとは、出席者7名全員が残っての懇親会食。いつもながら話題が多岐に亘り楽しい2時間の宴となりました。

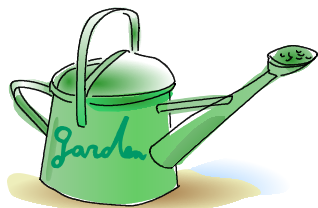
次回第67回「稲酔会」俳句会は、4月27日(土)「丸藤」2階で開催いたします。

兼題は「暮れの春」(暮春、末の春、春暮る、暮れゆく春)です。

(稲雀 記)

園芸の会

世話人 當摩 照夫・彰子 TEL 396-3033



1月25日(金)に毎年恒例のさくら草の芽とさぎ草の球根交換会を行いました。出席はいつものメンバーが総勢15人。とても賑やかな会になりました。今年の冬は特に寒いようで、寒中にさくら草とさぎ草の鉢を開けるのはなかなか大変。まだサボっていた人もいたようです。それでも、さくら草、さぎ草とも9月の暑さのせいで出来は今一つと言う中、藤澤リーダーのお蔭もあって、十分な品種の交換ができました。今年からチャレンジの人も再チャレンジの人も頑張りましょう。

次回は、そのさくら草の開花株を持ち寄っての鑑賞会を4月18日(木)、14:30~16:30にいつもの東村山スポーツセンターで行います。皆様、ふるってご参加ください。

ウォーキングの会

世話人 高橋 正夫 TEL 309-3407
阿部 茂 332-0298

「吉野梅郷と吉川英治記念館」

紅白咲き乱れる梅の里を巡り、吉川英治記念館まで足をのびします。

日時： 3月24日(日)

集合場所と時間：東村山駅国分寺方面行きホーム中程に午前8時30分集合(8:41の電車に乗ります。)

コース：小川・拝島・青梅乗り換えで宮の平駅よりスタート。臨川公園→明白院→梅の公園→吉野梅郷→吉川英治記念館→海禅寺→二俣尾駅より青梅線で帰路へ。(二俣尾駅2時ごろの予定)歩行予定時間は約2時間半位。

その他：当日は昼食をとる店の混雑が予想されますので、各自予め弁当をご用意ください。雨天の場合は中止とします。(確認は高橋までお願いいたします。~7時半までに)



第34回ウォーキング記(1月27日・早稲田界限)

快晴に恵まれ、日陰は寒いけど日向は暖か、まずまずのウォーキング日和でした。

高田馬場駅からまず理工学部(大久保校舎)へ。明治通りを横切って箱根山、文学部、穴八幡を経て本部校舎へ。演劇博物館を見学してから、皆様あまり馴染みのない芭蕉庵、新江戸川公園を散策しました。(見学者も少なく、新緑、紅葉の時期はお薦めです。)

甘泉園に寄ってから高田馬場駅へ。

駅そばの大衆食堂での昼食が意外と好評でした。

参加者(敬称略)：阿部、市川(夫人)、大内、小亀(夫妻)、高橋(夫妻)、當間、豊田、額田、山本、吉澤(夫妻)

(阿部記)

テニス同好会

世話人 田島 隆夫 TEL 396-7676



1月の例会が、雪で中止になったのとは一転し、2月2日(土)の例会は、南から暖かく湿った空気が流込み、4月中旬の陽気の中で行われました。

場所は運動公園のAコート、7名の参加者があり、11時~13時まで久しぶりにコートを駆け回り汗を流しました。

最近、休日のコート確保が難しくなっているなかで、ウィークデイの例会日の設定をどうするか、また、日帰りのテニス旅行はどうかとの意見もあり、現在、皆さんにご意見を聞いているところです。

参加者(敬称略)：小菅、高橋(一)、當間、野田ご夫妻、野村(茂)、田島

早稲田スポーツを応援する会 世話人 大内 一男 TEL 393-6543

早慶レガッタ観戦会（4月21日）へのお誘い

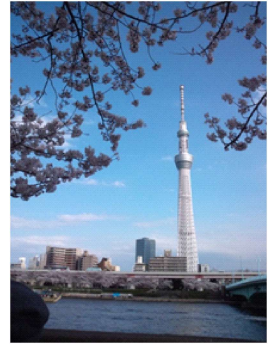
英国のオックスフォード大 vs ケンブリッジ大、米国のハーバード大 vs イェール大そして日本の早稲田大 vs 慶應大の対校戦は、「世界3大レガッタ」と言われています。

「レガッタ」とは、イタリア語のレガータ（覇を競う争い）に由来し、「ボートレース」のことを意味します。

昨年に引き続き今年も「西東京稲門会ワセスポを愛する会」様、「小平稲門会」様と合同で「第82回早慶レガッタ」観戦会を計画いたしました。

は～るの、うらら～の隅田川、満開（希望？）の桜、そして正面に聳えるスカイツリーと舞台装置は万全です。レース後はアサヒビールの本拠、アサヒスーパードライホール（予定）で懇親会も計画いたします。昨年は28名参加の大懇親会となり、学生寮時代の旧友と50年ぶりの再会を果たす、きっかけにめぐまれた東村山稲門会の校友がおられました。

皆様のご参加をお待ちしております。



日 時：平成25年4月21日（日曜日）

集合時間：12:30

雨天中止：問い合わせは当日午前7時より下記世話人まで。

集合場所：浅草雷門大提灯下 **観戦場所**：隅田公園の言問橋付近から桜橋間。

会 費：観戦会は無料

懇親会：観戦後「西東京稲門会ワセスポを愛する会」様、「小平稲門会」様と予算3～4千円で合同の懇親会（アサヒスーパードライホールを予定）を計画しています。観戦会参加お申し込み時に合わせて出席の可否をご連絡下さい。



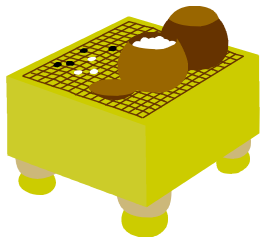
観戦レース	13レース	対校女子舵手付クォドルブル	13:20 発艇
	14レース	第二対校エイト	14:00 発艇
	15レース	対校エイト	14:50 発艇

参加ご希望の方は下記世話人までご連絡下さい。

☆世話人 小亀 輝雄 (394-6951)
大内 一男 (ohuchi6_7kzytmsk@aurora.ocn.ne.jp)
(090-4836-5886)

囲碁同好会

世話人 福田 晃 TEL 394-0593
高 鷲 近 394-2336



●2月16(土)、いつもの市民センター別館第6会議室で囲碁同好会の「例会」が開催されました。当日は寒風吹きすさぶ生憎の天候でしたが、熱心な会員10名が駆け付け、熱い戦いが時間ぎりぎりまで展開されました。皆さん、お疲れ様でした。

<参加者/敬称略>一色・江藤・塩田・田島・高鷲・野村・福田・堀田・中川・八木

○次回は、「第26回東村山稲門会囲碁大会」です。4月20日(土)、市民ホール別館、12時30分対局開始を予定しています。これまでは対局時間が不足して、全局の対戦ができないこともありましたが、時間を延長して会場を確保することにしました。そのため、ゆっくり対局を楽しむことができると思われます。詳細につきましては、次号の『稲門会ニュース』でご案内します。

カラオケ同好会

世話人 内藤 慎 TEL 393-5071



2月の例会を2月9日寒さを吹き飛ばし6名が集まり楽しく過ごしました。今年の課題曲は裕次郎の曲を自由に選び1曲とフリーに選んだ1曲と計2曲の合計点で競うことになります。

年末はすぐ到来します頑張りましょう。

本日の参加は井垣、石塚、小亀、高鷲、南湖、内藤の6氏。各自目標を決め選曲に作戦に頭を悩ます事でしょう

〈今後の予定〉

3月9日(土) 19時より カラオケランド ズー

4月6日(土) 同上



受験シーズンに想う「合格電報」

中村 幸宏 (S57年 商)

2月は受験シーズン、このところの雪で受験生の足に影響が出たことも報道されています。私が早稲田を受験したのはもう30年以上前のこと、地方の高校生の私は確か麻布の法華倶楽部に宿を取っていました。ここは修学旅行生の定宿でどこも大部屋の雑魚寝スタイル。そこから受験会場に向かう道すがら見かける残り雪をみながら、東京に雪が降るなんて意外だなと感じながら不安と期待が入り混じった気持ちで受験会場に向かったことを思い出します。どうにか試験を終え校舎から出た私を迎えたのは今では考えられない不思議な売り込みでした。それは“合格電報”です。大勢の学生がサークルごとに机を持ち出して一目見て地方からと分かる現役生を中心に わあっと囲い込み‘合格電報いかがですか、いかがですかと’、かなり強引に売り込んできます。昭和50年代の当時、早稲田の合格発表は校内掲示板のほかに合否を知る手段がありません。都内から遠い地方の受験者はそのために交通費をかけて上京するわけにはいかず、学生がアルバイトとして受験番号と住所氏名を記録して合格発表当日に掲示板を見て電話局に走り電報を打つわけです。確か手数料は1500円から2千円くらいでしたか、当時としては高いなあと思いつつ東京に結果を見に来てくれる親類縁者もいなかった私は見ず知らずの学生に半信半疑で番号を託して帰路につきました。

それから1週間後、自宅に「電報で一す」と電話局の方の声が響きました。そこには「イナホミノル、オメデトウ、ワセダノモリニテマツ」と記されていました。そして、うれしくて小躍りしました。しかし冷静になると依頼した学生の見間違いも有り得ることに気付きました。通知の真偽は保証されていません。一抹の不安を抱いた私は正式手続きのために上京、実際に自分の目で番号を確かめて改めて合格の喜びに浸った次第です。

インターネットが普及した現代では合格発表の当日に学生は何処にいても瞬時に正確に結果を知ることができます。便利なツールではありますがデジタル的で味気ない感じがします。{稲穂実る}「稲穂散る」という表現は、他校でもよく使われていた「桜咲く」と違い早稲田受験の合否にだけ使われた由緒ある言い回しです。そして「早稲田の杜にて待つ」という言葉にも前途洋々たる若者の将来が早稲田合格そして入学を機に広がってゆくことを暗示していると思います。時代は変わります。大事な試験結果の伝達の仕方も変わってゆきます。でも私にとって自宅で手渡してもらった一通の合格電報とその文面は早稲田合格そして入学という人生の節目における大きな出来事としてずっと脳裏に刻まれてきました。

いづろ姿を消してしまったのでしょうか。手作りのワセダ合格電報。受験時期のキャンパスの風物詩だったのにちよっぴり寂しい気がします。今年も全国から早稲田を目指して多くの若者が集まってきます。人生を左右する大事な試験結果を、人が見に行き、独自のメッセージで、人の手で伝えられる。過去にはこんなに粋なコミュニケーションツールがあったことを是非語り継ぎたいものです。(了)

同好会等 短期予定表													
同好会・行事	3月					4月					世話人 (問合せ先)		
	日	曜	時間	場所	備考	日	曜	時間	場所	備考			
ウォーキングの会	24	日	9:00	東村山駅国分寺行きホーム	吉野梅郷	—	—	—	—	—	—	高橋正	042-309-3407
郷土史の会	—	—	—	—	—	19	金	9:00	*	—	—	高橋正	042-309-3407
テニス同好会	13	水	13:00~15:00	久米川コート4	—	17	水	13:00~15:00	久米川コート4	—	—	田島	042-396-7676
	18	月	13:00~15:00	久米川コート4	予備日	21	日	9:00~11:00	久米川コート3	予備日	—		
囲碁同好会	—	—	—	—	—	20	土	12:30~	市民センター別館	—	—	高鷲	042-394-2336
カラオケ同好会	9	土	19:10~	カラオケランドズー	—	6	土	19:10~	カラオケランドズー	—	—	内藤	042-393-5071
園芸の会	—	—	—	—	—	18	木	14:30~16:30	スポーツセンター	—	—	當摩	042-396-3033
麻雀同好会	23	土	12:30~	サロン園	—	—	—	—	—	—	—	阿部	042-332-0298
音楽同好会	4	月	13:30~	恩多ふれあいセンター	—	—	—	—	—	—	—	市川	042-308-8181
俳句同好会	—	—	—	—	—	27	土	14:00~	「丸藤」2階	—	—	井垣	04-2924-2934
ゴルフ同好会	13	水	7:30~	西武園GC	—	—	—	—	—	—	—	石川	042-394-4702
早稲田スポーツ応援の会	—	—	—	—	—	21	日	12:30~17:00	隅田公園	レガッタ	—	大内	042-393-6543
パソコン同好会	9	土	10:00~12:00	シルバー人材センター	勉強会	6	土	10:00~12:00	シルバー人材センター	勉強会	—	小菅	042-391-0219
	23	土	13:00~15:00	シルバー人材センター	勉強会	27	土	13:00~15:00	シルバー人材センター	相談会	—		
	23	土	15:00~16:00	シルバー人材センター	相談会	27	土	15:00~16:00	シルバー人材センター	勉強会	—		
雑学講座	—	—	—	—	—	6	土	15:00~16:30	サンパルネ	—	—	當間	042-391-6023

— : 対象月に開催予定無し * : ニュース編集時点で未定。詳細は世話人にお問合せ下さい。

今年の三多摩支部大会は11月10日(日)に決定しました。

多摩地区26稲門会の会員が一堂に集まり懇親を深める「三多摩支部大会」が、今年は11月10日(日)に開催されることが決まりました。

今年度の幹事稲門会は、東大和・武蔵村山・羽村です。当日は、大隈小講堂で元ソニー会長出井伸之氏の記念講演が予定されています。

詳細は間近になりましたらご案内しますが、是非多くの会員の皆様の出席をお願いします。

編集局だより

○次号の原稿締め切りは3月23日(土)です。よろしくお願いいたします。(中村)

fax: 042-391-0581 email: mym-naka@u01.gate01.com

俳壇

口笛で真似囀りの中に入る 井垣 稲雀
 大木の樺赤らみて春隣 出田 麦穂
 冴返る堂宇に笑まふ円空仏 風間 和夫
 喪服干す妻の背中や春愁 菊田 一平
 受験生見送る父の拳かな 幸田 瑞雄
 草餅を片手にぶらり矢切まで 小亀 稻生
 犬ふぐり踏んで梅見の御座席 高部 糸行
 立子忌の摘んで土筆のまだをさな 内藤 慎
 暖かや番のきじばと羽繕い 丸本 北窓
 月落ちて満天の星凍てつけり 八木 竜湖
 孫からの絵入りの手紙春の風 山 波雲
 囀りも子供らの声も今何処 粟島 三郎
 囀りを聴くは寝床の指定席 老の身に重き一行初日記
 摘むごとに庭に広がる三つ葉の香
 雪解けの水ほとばしり滝となる
 初午におこわ供えて稲荷堂
 囀に狛犬顔をしかめたる
 春立つ日きみの笑顔に経唱ふ
 秒分時翔つが如くに二月過ぐ
 椿落つ鯉が口出す池の端
 囀りのしきりに近し花の蔭
 軒に籠出せばにはかに囀れる
 膨らみし梅の木までの足慣らし